

湖南省「ゼロカーボンシティ」宣言

国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）は、SDGs国連加盟国193ヶ国が2016年から2030年までの15年間で達成する目標として掲げています。

制定された17の国際目標の中に、「13.気候変動に具体的な対策を」があり、世界的な気候変動に対する対策が求められています。

国連の世界気象機関（WMO）は世界の主要な観測データセットの分析に基づき、世界気温の上昇がすでに悲惨な結果をもたらしているとして、「記録的な海面上昇、海洋の温度と酸性度の上昇、異常気象」などを例に挙げています。

地球温暖化の進行に伴い、今後災害や猛暑のリスクがさらに高まると言われており、私たちの生活の様々な点で影響を与えます。

2015年に合意されたパリ協定では「産業革命前からの平均気温上昇を2°C未満とし、1.5°Cに抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されましたが、2018年に公表されたIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書では、この目標を達成するためには「2050年までにCO₂(二酸化炭素)の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

湖南省は、SDGs未来都市に選定された都市として、市民や事業者の皆さんと共に、脱炭素社会の実現に貢献するため、2050年までに市内のCO₂排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを宣言します。

令和2年8月31日

湖南省長 谷畑 英吾